

経営改革プラン取組項目		過去の主な取組実績 (平成18～21年度)	平成22年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
① 事務事業の見直し	ア 引き続き効率的に実施する事業 ① 常に事務事業の内容を総点検し、効率的な事業の見直しを実施します。 ② 理事主導型の事業推進を図りたい。	・キャンセル等について、就業開拓推進員による訪問調査・分析(鹿児島県シルバー人材センター連合会の活性化推進事業委員を通して、新規会員募集や就業の開拓を進めてきた。) ・就業開拓推進員による各支所地域内の一般家庭訪問実施(上記の推進員が自治会やコミュニティを通して訪問活動を実施してきた。)	上期 ア 引き続き効率的に実施する事業 ① 常に事務事業の内容を総点検し、効率的な事業の見直しを実施します。 ② 各専門委員会の会議運営を理事(委員長)主導で実施します。	ア 引き続き効率的に実施する事業 ① 日常業務の経営状況を把握し点検しながら、効率的な運営に心がけた。 ② 各専門委員会の会議運営を理事(委員長)主導で実施中した。
			下期 ア 引き続き効率的に実施する事業 ① 常に事務事業の内容を総点検し、効率的な事業の見直しを実施します。 ② 各専門委員会の会議運営を理事(委員長)主導で実施します。	ア 引き続き効率的に実施する事業 ① 市の指定管理の変更に伴う事業開拓など、経営的発想で運営した。 ② 各専門委員会の会議運営について理事主導を実施したが、1度には難しかった。今後も検討したい。
② 組織体制の見直し	組織体制については、役員・職員とも第1次の改革で見直しを行っており、完了している。	①東郷・樋脇支所の事務委託を本所対応(平成20年度) ② 祁答院・入来支所の職員の嘱託員化 ③理事数の削減(20人以内を15人以内に) ④支所の統廃合 ・里・上甕支所を統合(平成19年4月1日) ・祁答院・入来支所を統合(平成20年4月1日)	上期 完結	完結
			下期 完結	完結
③ 人事・給与制度の確立	ア 適正な人件費の抑制 人件費は正規職員の定年退職の補充を嘱託職員の採用などにより削減を図ります。 イ 当該団体に応じた給与制度の確立 給与制度は、他のシルバー人材センターを参考に今後研究します。	・造園技能士資格者1名採用(平成19年4月1日)	上期 ア 適正な人件費の抑制 人件費は正規職員の定年退職の補充を嘱託職員の採用などにより削減を図ります。 イ 当該団体に応じた給与制度の確立 給与制度は、他のシルバー人材センターを参考に今後研究します。	ア 適正な人件費の抑制 正規職員の定年退職に伴い、補充は嘱託職員で採用するなど人件費の削減ができた。 イ 当該団体に応じた給与制度の確立 他のシルバー人材センターの職員・嘱託など参考にし、検討した。
			下期 ア 適正な人件費の抑制 人件費は正規職員の定年退職の補充を嘱託職員の採用などにより削減を図ります。 イ 当該団体に応じた給与制度の確立 給与制度は、他のシルバー人材センターを参考に今後研究します。	ア 適正な人件費の抑制 正規職員の定年退職に伴い、補充は嘱託職員で採用するなど人件費の削減ができた。 イ 当該団体に応じた給与制度の確立 給与制度は他のシルバー人材センターの職員・嘱託など参考にしながら、市に準じて給与を確立した。

経営改革プラン取組項目		過去の主な取組実績 (平成18～21年度)	平成22年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
④ 経営状況等の点検、評価	<p>ア 成果目標を設定した業務評価の仕組みの検討 ① 公益社団法人への移行を平成24年度に実施します。 ② 市と連携して業務が推進できるよう、企画提案方式を検討してまいります。(企画提案方式とは、地方公共団体が策定している各種プラン等とシルバー人材センターが連携して事業の企画を立案するもので、国庫補助金の対象である。)</p> <p>イ 内部評価の実施 事業実績の評価を行い、就業の開拓に努めます。</p> <p>ウ 経営向上のための研修会の実施 ① 剪定等の講習会を行い、技術の向上を図ります。 ② 安全講習会を開催し、安全対策に配慮します。</p>	<p>・第三者機関による客観的な経営状況の点検・評価のあり方を検討</p> <p>・顧客満足度の向上 →就業開拓推進員による実態調査、分析</p>	<p>上期</p> <p>ア 成果目標を設定した業務評価の仕組みの検討 ① 公益社団法人への移行を平成22年度は準備します。 ② 市と連携して業務が推進できるよう、企画提案方式を検討してまいります。 イ 内部評価の実施 事業実績の評価を行い、就業の開拓に努めます。 ウ 経営向上のための研修会の実施 ① 剪定等の講習会を行い、技術の向上を図ります。 ② 安全講習会を開催し、安全対策に配慮します。</p>	<p>ア 成果目標を設定した業務評価の仕組みの検討 ① 公益社団法人への移行を平成22年度は連合会の指導を受けた。 ② 企画提案方式については、「あったか支援事業」として国の認可を受け、講習会の実施に取り組んだ。 イ 内部評価の実施 事業実績の評価を行い、就業の開拓に努めた。 ウ 経営向上のための研修会の実施 ① 市道の歩道部に植栽してある樹木を利用して、剪定の技術講習会実施した。 ② 安全講習会を本土と島嶼部に計画中である。</p>
			<p>下期</p> <p>ア 成果目標を設定した業務評価の仕組みの検討 ① 公益社団法人への移行を平成22年度は準備します。 ② 市と連携して業務が推進できるよう、企画提案方式を検討してまいります。 イ 内部評価の実施 事業実績の評価を行い、就業の開拓に努めます。 ウ 経営向上のための研修会の実施 ① 剪定等の講習会を行い、技術の向上を図ります。 ② 安全講習会を開催し、安全対策に配慮します。</p>	<p>ア 成果目標を設定した業務評価の仕組みの検討 ① 公益社団法人への移行について、移行の意思表示を議決し定款等の作成を進めた。 ② 企画提案方式については、「あったか支援事業」として国の認可を受け、会員の質の向上に向けた講習会等を実施した。 イ 内部評価の実施 昨年度の事業実績を参考にしながら、更なる就業の開拓が必要である。 ウ 経営向上のための研修会の実施 ① 市道の歩道部に植栽してある樹木を利用して、剪定の技術講習会を実施した。 ② 鹿児島労働局委託の労災防止指導員を招聘し、安全講習会を本土と島嶼部で実施した。</p>
⑤ 情報の公表と管理	<p>ア 情報の公表 ① 平成22年度から23年度にかけてシルバー人材センター独自のホームページの開設を検討します。 ② 市の広報紙の活用及び当センターの「シルバーだより」で市内向けに情報提供します。</p> <p>イ 市の個人情報保護条例に準じた対策 個人情報の保護には継続して保護管理に努めます。</p>	<p>・市の広報紙へ事業内容等を掲載 ・個人情報の保護や適正な取得</p>	<p>上期</p> <p>ア 情報の公表 ① 平成22年度から23年度にかけてシルバー人材センター独自のホームページの開設を検討します。 ② 市の広報紙の活用及び当センターの「シルバーだより」で市内向けに情報提供します。 イ 市の個人情報保護条例に準じた対策 個人情報の保護には継続して保護管理に努めます。</p>	<p>ア 情報の公表 ① 平成22年度に独自のホームページの開設について検討した。 ② 市の広報紙の活用及び当センターの「シルバーだより」で会員募集・仕事の受け入れの情報提供した。 イ 市の個人情報保護条例に準じた対策 個人情報の保護には継続して保護管理に努めた。</p>
			<p>下期</p> <p>ア 情報の公表 ① 平成22年度から23年度にかけてシルバー人材センター独自のホームページの開設を検討します。 ② 市の広報紙の活用及び当センターの「シルバーだより」で市内向けに情報提供します。 イ 市の個人情報保護条例に準じた対策 個人情報の保護には継続して保護管理に努めます。</p>	<p>ア 情報の公表 ① 独自のホームページの開設は、プログラムの作成が終了したが、内容の精査をして公表したい。 ② 市の広報紙は紙面の関係で年1回は活用させてもらっており、当センターの広報誌で年2回情報提供している。 イ 市の個人情報保護条例に準じた対策 個人情報の保護には継続して保護管理に努めた。</p>
上期 総括	<p>括り組み計画の中間の段階で、順調に推移している。下期に向けて目標達成に努力したい。</p>			
下期 総括	<p>括り22年度は、5つの目標を設定し経営努力を図った結果、総括的には順調に推移したと判断している。今後も引き続き社会経済情勢を見極めながら、経営努力を図りたい。</p>			